

配付数	580
回答者数	416
回答率	71.7%

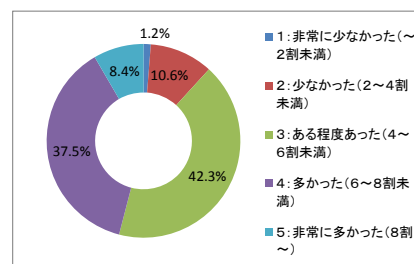
## 研究業績水準判定組織 評価者アンケート集計結果(速報値)

資料 2-2  
国立大学教育研究評価委員会(第46回)  
平成29年6月21日

### I 大学から提出された研究業績について

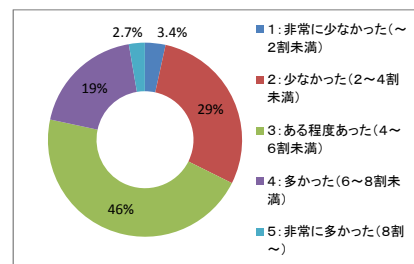
問1(1)「学術的意義」を判断する研究業績について、どの程度の割合の業績に判断を行うための根拠が十分に記述されていたか。以下の5段階から選択ください。

		数	割合
1	1:非常に少なかった(～2割未満)	5	1.2%
2	2:少なかった(2～4割未満)	44	10.6%
3	3:ある程度あった(4～6割未満)	176	42.3%
4	4:多かった(6～8割未満)	156	37.5%
5	5:非常に多かった(8割～)	35	8.4%
総計		416	100%



問1(2)「社会・経済・文化的意義」を判断する研究業績について、どの程度の割合の業績に判断を行うための根拠が十分に記述されていたか。以下の5段階から選択ください。

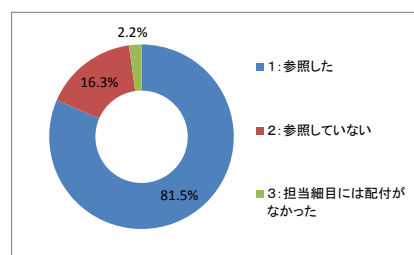
		数	割合
1	1:非常に少なかった(～2割未満)	14	3.4%
2	2:少なかった(2～4割未満)	119	29.0%
3	3:ある程度あった(4～6割未満)	189	46.0%
4	4:多かった(6～8割未満)	78	19.0%
5	5:非常に多かった(8割～)	11	2.7%
総計		411	100%



### II 参考資料について

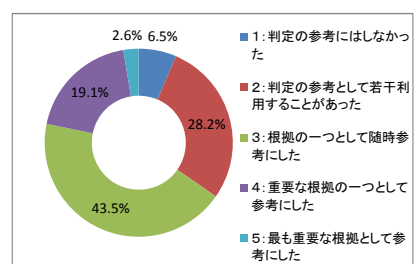
問2(1)—①6月中旬に配付しました、各論文の被引用数等のデータ(研究業績説明書【被引用数データ付き】)を判定の際に参照されましたか。

		数	割合
1	1:参照した	339	81.5%
2	2:参照していない	68	16.3%
3	3:担当細目には配付がなかった	9	2.2%
総計		416	100%



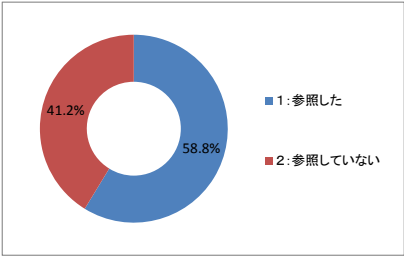
(1)—②上の問いで「1:参照した」と回答した場合、被引用数データはどの程度参考になりましたか。以下の5段階から選択ください。

		数	割合
1	1:判定の参考にはしなかった	22	6.5%
2	2:判定の参考として若干利用することがあった	96	28.2%
3	3:根拠の一つとして随時参考にした	148	43.5%
4	4:重要な根拠の一つとして参考にした	65	19.1%
5	5:最も重要な根拠として参考にした	9	2.6%
総計		340	100%



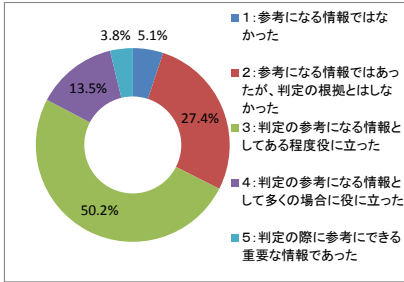
(2)―①6月初旬に配付しました、「被引用数の閾値リスト」を判定の際に参照されましたか。

		数	割合
1	1:参照した	238	58.8%
2	2:参照していない	167	41.2%
総計		405	100%



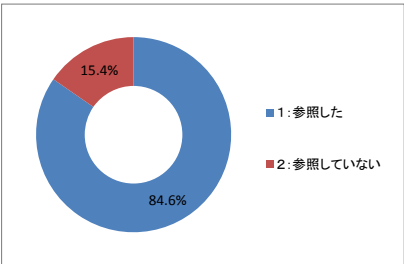
(2)―②上の問いで「1:参照した」と回答した場合、判定にどの程度参考になりましたか。以下の5段階から選択ください。

		数	割合
1	1:参考になる情報ではなかった	12	5.1%
2	2:参考になる情報ではあったが、判定の根拠とはしなかった	65	27.4%
3	3:判定の参考になる情報としてある程度役に立った	119	50.2%
4	4:判定の参考になる情報として多くの場合に役に立った	32	13.5%
5	5:判定の際に参考にできる重要な情報であった	9	3.8%
総計		237	100%



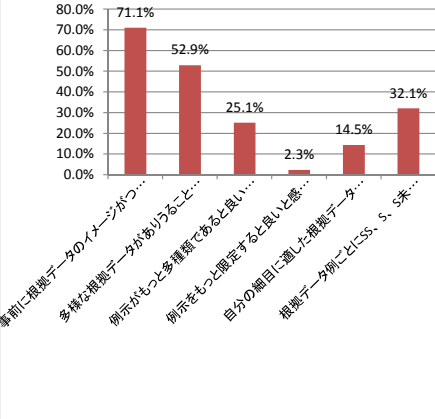
(3)―①評価者研修会にて「参考例」として卓越した研究業績の根拠データの分野ごとの例を配付しました。判定作業の前に参照されましたか。

		数	割合
1	1:参照した	346	84.6%
2	2:参照していない	63	15.4%
総計		409	100%



(3)―②上の問いで「1:参照した」と回答した場合、以下から当てはまるものを全て選んでください(複数選択可)。

		数	割合
1	事前に根拠データのイメージがついた。	246	71.1%
2	多様な根拠データがありうることが理解できた。	183	52.9%
3	例示がもっと多種類であると良いと感じた。	87	25.1%
4	例示をもっと限定すると良いと感じた。	8	2.3%
5	自分の細目に適した根拠データの例示が少ないと感じた。	50	14.5%
6	根拠データ例ごとにSS、S、S未満の判定の基準の提示が必要と感じた。	111	32.1%

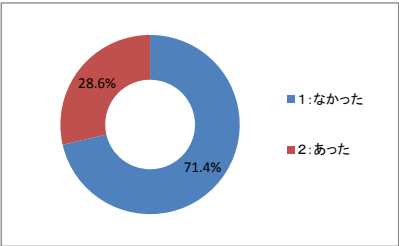


(4):自由記述(別紙参照)

Ⅲ 判定について

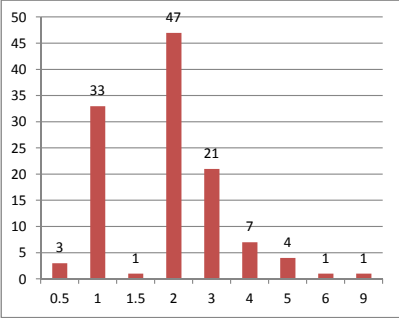
問3(1)ご担当の細目の専門領域の範囲を超える(担当細目の専門知識では判断しづらい)研究業績がありましたか。あった場合は、およその割合もお答えください。

		数	割合
1	1:なかった	297	71.4%
2	2:あった	119	28.6%
総計		416	100%



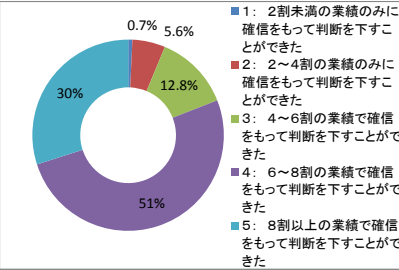
あった場合、およその割合

		数
1	0.5	3
2	1	33
3	1.5	1
4	2	47
5	3	21
6	4	7
7	5	4
8	6	1
9	9	1
総計		118



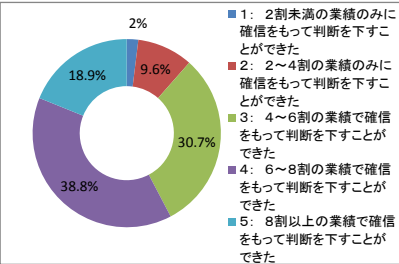
(2)学術的意義について、「SS」「S」「S未満」の間の判断はしやすかったですか？ 判定された業績の中で確信をもって判定を下すことができた割合を以下の5段階から選択ください。

		数	割合
1	1: 2割未満の業績のみに確信をもって判断を下すことができた	3	0.7%
2	2: 2～4割の業績のみに確信をもって判断を下すことができた	23	5.6%
3	3: 4～6割の業績で確信をもって判断を下すことができた	53	12.8%
4	4: 6～8割の業績で確信をもって判断を下すことができた	211	51.0%
5	5: 8割以上の業績で確信をもって判断を下すことができた	124	30.0%
総計		414	100%



(3)社会・経済・文化的意義について、「SS」「S」「S未満」の間の判断はしやすかったですか？ 判定された業績の中で確信をもって判定を下すことができた割合を以下の5段階から選択ください。

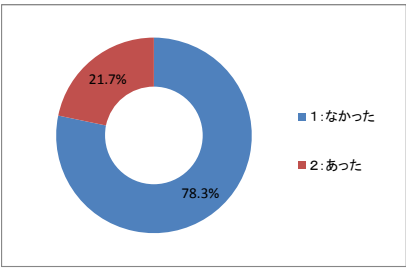
		数	割合
1	1: 2割未満の業績のみに確信をもって判断を下すことができた	8	2.0%
2	2: 2～4割の業績のみに確信をもって判断を下すことができた	39	9.6%
3	3: 4～6割の業績で確信をもって判断を下すことができた	125	30.7%
4	4: 6～8割の業績で確信をもって判断を下すことができた	158	38.8%
5	5: 8割以上の業績で確信をもって判断を下すことができた	77	18.9%
総計		407	100%



(4) 今回の研究業績判定では、一つの「研究業績」に三編までの論文等を記載する方式をとり、「研究業績」を単位として判定をしていただきました。この方法で判定がしづらいことがありましたか。あった場合は、具体的な内容もご記入ください。

		数	割合
1	1:なかった	324	78.3%
2	2:あった	90	21.7%
総計		414	100%

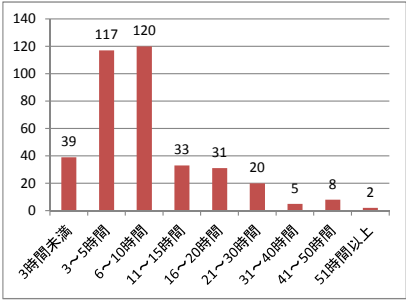
具体的な内容:別紙参照



Ⅳ 作業について

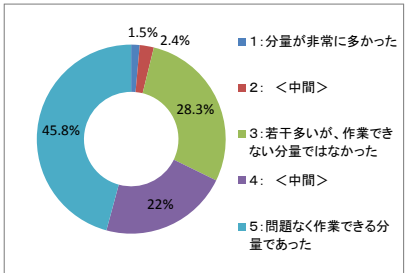
問4(1)作業時間について  
研究業績判定にかかった、おおむねの作業時間をお答えください。

		数	割合
1	3時間未満	39	10.4%
2	3～5時間	117	31.2%
3	6～10時間	120	32.0%
4	11～15時間	33	8.8%
5	16～20時間	31	8.3%
6	21～30時間	20	5.3%
7	31～40時間	5	1.3%
8	41～50時間	8	2.1%
9	51時間以上	2	0.5%
総計		375	100.0%



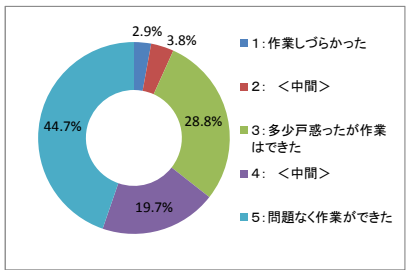
(2) 判定した業績数に関するご認識について、当てはまるものを以下の5段階から選択ください。

		数	割合
1	1:分量が非常に多かった	6	1.5%
2	2: <中間>	10	2.4%
3	3:若干多いが、作業できない分量ではなかった	117	28.3%
4	4: <中間>	91	22.0%
5	5:問題なく作業できる分量であった	189	45.8%
総計		413	100%



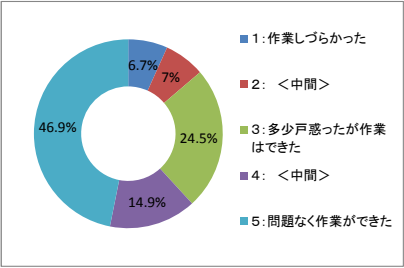
(3) ウェブ(オンラインストレージ)による作業について  
ファイルの受け渡しを、ウェブサイト(オンラインストレージ)を用いて行いました。その使い勝手はいかがでしたか。以下の5段階から選択ください。

		数	割合
1	1:作業しづらかった	12	2.9%
2	2: <中間>	16	3.8%
3	3:多少戸惑ったが作業はできた	120	28.8%
4	4: <中間>	82	19.7%
5	5:問題なく作業ができた	186	44.7%
総計		416	100%



(4)Excelを用いた作業について  
研究業績の判定はマイクロソフト社の  
Excelのファイルを用いて行いました。そ  
の使い勝手はいかがでしたか。以下の5  
段階から選択ください。

		数	割合
1	1:作業しづらかった	28	6.7%
2	2: <中間>	29	7.0%
3	3:多少戸惑ったが作業はできた	102	24.5%
4	4: <中間>	62	14.9%
5	5:問題なく作業ができた	195	46.9%
総計		416	100%



V 自由記述

問5:別紙参照